

限りあるレアメタル資源を未来につなぐ

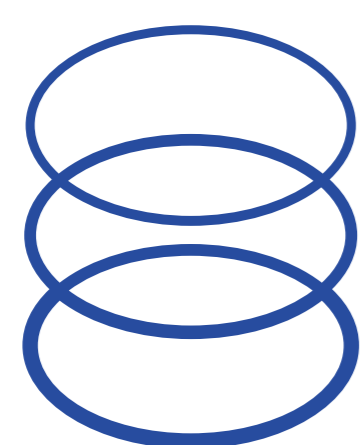


SUZUKI HIROSHI

鈴木 裕士

株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ

代表取締役社長



EMULSION
FLOW
TECHNOLOGIES

使用済み核燃料の元素分離技術として開発された革新的な溶媒抽出技術「エマルジョンフロー」、この原子力研究から生まれた唯一無二の優れた技術を、レアメタルを取り巻く社会課題解決に活用したいという強い思い、それが私たちの原動力です。

●PROFILE

[1975年生まれ]2003年に日本原子力研究所(現、日本原子力研究開発機構/JAEA)に入所以来、約17年間にわたり中性子利用研究に従事。2018年度にNEDO SSAを受講後、JAEA内にイノベーション推進室を設立し、原子力分野から生まれた研究成果の社会実装支援を開始。その活動において共同創業者の長縄との出会いがあり、エマルジョンフローの普及を目指した「株式会社エマルジョンフローテクノロジーズ」を設立。

●座右の銘

Go beyond the limit

●会社所在地

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方7番地5

●事業紹介

革新的溶媒抽出技術エマルジョンフローを活用したリチウムイオン電池のレアメタルリサイクル技術の開発と、それを活用したレアメタルリサイクル事業。

●創業年

2021年

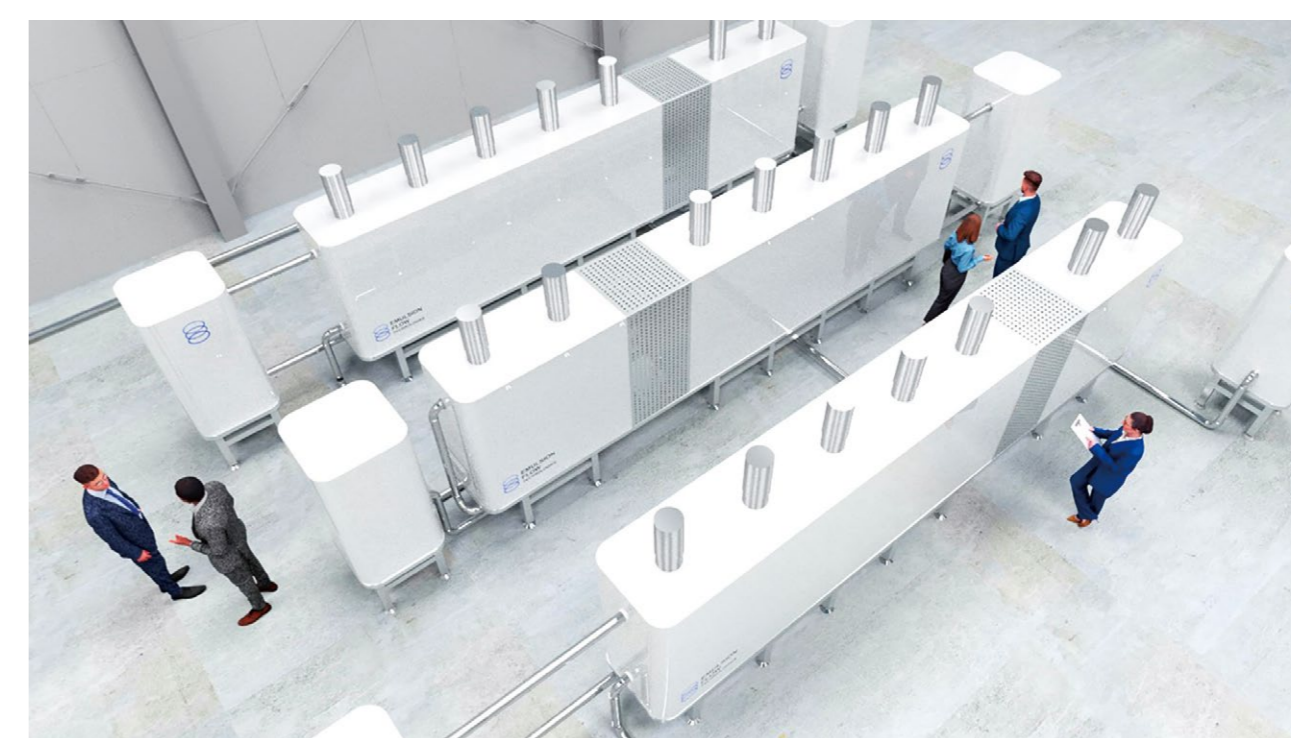
●コメント

JAEAにおいて中性子利用研究に取り組んでいた元研究者。「原子力研究の成果が社会実装されずに埋もれていく」現実を目の当たりにし、それを自ら解決すべく研究者から起業家の道へ。「自らの研究成果でレアメタルを取り巻く社会課題を解決したい」という共同創業者の長縄の強い思いに共感しエマルジョンフローテクノロジーズの起業を決意。ビジネス経験はなくとも、持ち前の突破力と柔軟性で事業を推進。

会社の特徴

研究開発と社会実装をドライブできる 経験豊富な人財が事業を推進

「技術だけではビジネスは育たない、ビジネスが技術を育てる」という考えから、創業当初より、プロセス開発やプラント開発に専門性の高い研究開発人材だけでなく、経営企画・管理やグローバルビジネスなどに経験豊富なビジネス人材を積極的に採用し、超高速でLIBリサイクルの技術開発と事業化を両輪で推進しています。

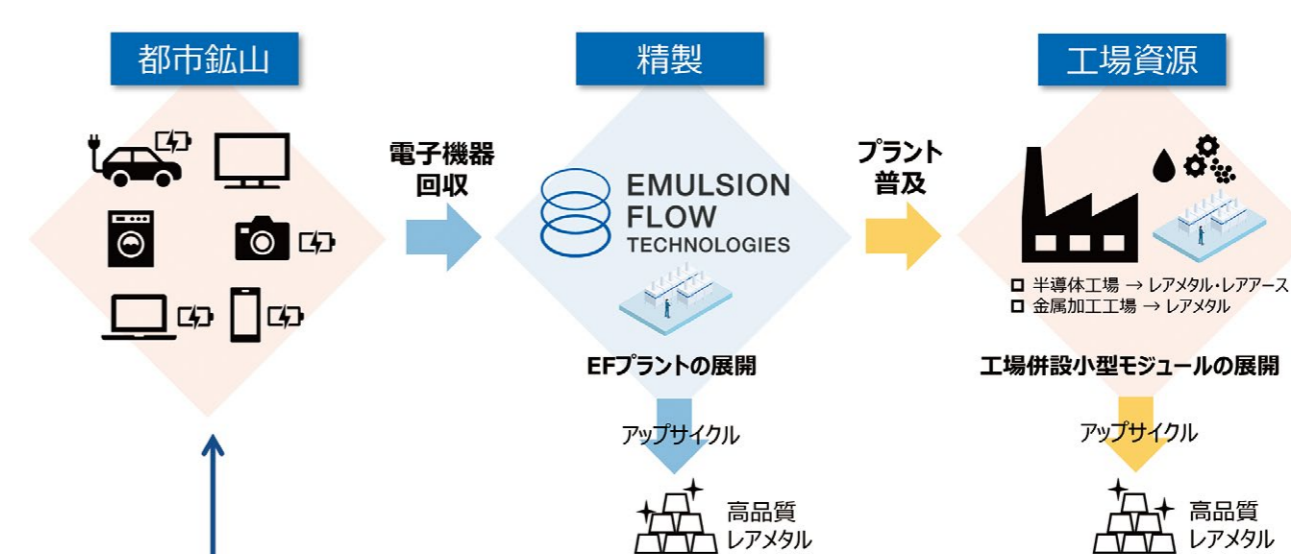


▲ エマルジョンフロープラント

事業・サービスの強み

エマルジョンフローで レアメタルを取り巻く社会課題解決に挑戦

革新的溶媒抽出技術「エマルジョンフロー」は低コスト、高効率かつ高純度にレアメタルリサイクルを実現する技術です。このエマルジョンフローを都市鉱山で活用するという発想で、リチウムイオン電池のレアメタルリサイクルの事業化を実現し、レアメタルを取り巻く社会課題を解決します。



▲ エマルジョンフローで資源循環